

だれもが幸せに過ごすためには

私は、だれもが幸せで気持ちよく過ごすために、必要なことが二つあると考えています。それは、人の気持ちを考えることと、人の悪口を言わないということです。

一つ目の「人の気持ちを考えること」について。私は、道德の学習や普段の学校生活の中で、「人の気持ちを考える」ことが大切だという言葉を聞くと、いつも、あることを思い出します。以前、目の前で泣いている友達がいました。その友達に私は、「大丈夫。」と声をかけました。何か困ったことやイヤなことがあるのかな、その友達はどうしたいのかなと心配になったからです。そして、友達が困っていることを話してくれたので、相談にのったり、助けてあげたりすることができました。逆に、私が泣いているときに友達が「大丈夫。」と聞いてくれて、うれしい気持ちになったこともあります。この経験から、相手の気持ちを考えることで、お互いがうれしい気持ちになっていくのだと思いました。

二つ目の「悪口を言わない」ということについて。三年生るとき、仲よくしていた友達が、私のことを悪く言っていたよと、別の友達が教えてくれたことがありました。つまりかげ口を言われたのです。直接悪口を言われたわけではありませんでしたが、私はとてもイヤ

な気持ちになりました。しかし、実は、私もそれまでに友達に対して、直接ではなく、かげ口で悪口を言ってしまったことがあったのです。その悪口が、もし相手にも伝わっていたら、私が傷ついたように、相手を傷つけていたと思います。悪口やかげ口は、やはり人を傷つけます。そして、そんな悪口はいじめにつながって、だれもが幸せで、気持ちよく過ごすということとは、正反対になってしまいます。

このように、人の気持ちを考えることと、悪口を言わないことは、だれもが幸せで、気持ちよく過ごすために、絶対に必要なことだと思います。私は、これから、もっと人の気持ちを考えられる人になっていきたいと思います。そして、悪口やかげ口を絶対に言わないようにしたいと思います。もし、周りで相手を傷つけている人がいたら、「やめた方がよいよ」と声をかけられるようになりたいと思います。